

Action 5
Color
彩る

地域の資源を守る人、まちづくりの仕掛け人…

人々のアイデアで、まちがもっと輝く。

2013年にスタートした室生寺のライトアップや、地域の皆で季節を愛でる取り組み、そして、廃校を活用した新しい場づくりなど、まちを彩るさまざまな活動。

人が集まり、まちが賑わうためのグッド・アイデアをご紹介します。

室生寺

奈良時代に開創、山林修行の寺院として、各宗兼学の道場として、独特の仏教文化を形成。平安前期を中心とした数々の仏教美術を継承する。五重塔は屋外にある日本一小さいもので、法隆寺五重塔に次ぐ古塔。

☎0745-93-2003 図室生78
開8時30分～17時(12～3月は9時～16時) 大人600円、子ども400円

MAP P45 B-4



本堂正面の厨子に安置される如意輪観音菩薩(重文)。穏やかな作風の檜の一木造りで、観心寺・神呪寺の如意輪とともに日本三如意輪の1つと称されている

自然と仏像の優しさに心なごむお寺。
ライトアップで新しい美しさを再発見。



2014年7月には、仙台で東日本大震災復興祈念特別展「奈良・国宝室生寺の仏たち」を開催。「五重塔が台風被害を受けた際にいただいた支援に対し、ご恩返しの気持ちでおこないました。後日、展示会をご覧になった方が参拝にいられましたよ」。

参拝客の誘致に宇陀市も力を入れており、昨年から室生地区まわりの協議会と宇陀市との共同事業で、紅葉の見頃に合わせてライトアップを開催。「朱塗りの太鼓橋から境内に入ってくる時、皆さん景観に見とれていらつやいます。お堂を取り囲む錦は見事です」。

参拝客の誘致に宇陀市も力を入れており、昨年から室生地区まわりの協議会と宇陀市との共同事業で、紅葉の見頃に合わせてライトアップを開催。「朱塗りの太鼓橋から境内に入ってくる時、皆さん景観に見とれていらつやいます。お堂を取り囲む錦は見事です」。

厳しく女人を禁制してきた高野山に対し、女性も同じような功德を得られる祈りの場として親しまれてきた室生寺。春はシャクナゲ、秋は紅葉が彩り、金堂や本堂に多数安置される国宝・重文の仏様の姿もどこか穏やかだ。「ここには、都から離れていたからこそ残された、素晴らしい建造物、仏教美術があります。長い歴史と伝統を、先の世代へ繋ぐ重い役割を担っていますので、私も就任当初は緊張の連続でした」と網代管長。

真言宗室生寺派管長
大本山室生寺座主
網代智明さん
CHIMEI AJIFO

上西二彦さん
KAZUHIKO UENISHI

榛原内牧の嶽山。嶽神社があるこの山は、かつて杉や檜の立派な木で覆われていた。しかし、残念なことになった。平成10年9月に近畿地方を襲った台風により、根こそぎ倒れてしまったという。その頃、神社の役員をしていた上西さんが中心となり、ここに桜の木を植えることに。「キレイな花が咲く桜を植え、毎年皆で花見を楽しもう」ということになったんです。

寄付を募り、集まったお金で植栽開始。その数、なんと500本。「建設業の方に無償で重機をお借りしたり、色々な協力を得て、2年がかりで整備しました。頂上に建てた東屋からは一面の桜を見渡せます。一目500本。吉野にはありませんがこれだけ見渡せるところはなかなかないんじゃないかな」。

●内牧区民の森

春になるとワラビが生え、花見と山菜採りを同時に楽しめる。クチコミで訪れる人も増えているとか。

MAP P44 C-3

4月の第2日曜は桜まつり。
皆で1日中花見を楽しんでいます。

年に一度の季節の訪れ、皆で楽しむ。

新禎夫さん
SADAO AIBASHI

宇陀市連合自治会長などを歴任し、現在は東榛原まちづくり協議会会長として、地域づくりのキーパーソンとなっている新氏。榛原ふれあい広場の桜の見頃は5月であることから、同時にこいのぼりも楽しめるようにと、東榛原の皆さんから寄付を集め、こいのぼりの広場を実現した。「住宅街の子どもたちは、大きなこいのぼりを見るのが初めてだと喜んでもらっていますよ」。

●榛原ふれあい広場

室生ダム湖の入口にあり、グラウンドや広場が整備され、ピクニックを楽しむ人々で賑わう。

MAP P44 B-2

大きいこいのぼりを目の当たりに
できると喜んでもらっています。



奈良県内で初！ 「まちづくり協議会」は 未来のネットワーク。

少子高齢化、人口減少など社会や世帯構造の変化、市政を取り巻く環境の変化に伴い、全国的に転換期を迎えている地域自治。宇陀市では、いち早く「まちづくり協議会」を立ち上げ、市民参加型の新しいしくみづくりに取り組んでいる。

STEP 1 発足～現在

自分が住むまちづくりは、 われわれの手で！

平成23年度に、まちづくり協議会準備会を立ち上げ、全国の事例研究や宇陀市に合った組織づくりを検討し、各地域での設立を推進してきた。現在15団体が地域課題の解決を図るために活動しており、将来的には市内全域で20団体を設立する。

STEP 2 現在の活動

認知度UPと可能性を探って、 目下前進中。

防災訓練や祭りなどのイベントのほか、高齢者の見守りなど「まち協」毎に様々な活動をおこなっており、地域課題の解決に向けて少しずつ活動範囲を広げている。

STEP 3 未来のビジョン

市民1人1人が参加することで 個性豊かで活力あるまちに。

「まち協」の活動を通じて、生き甲斐の創出や地域への愛情、誇りが深まり、住んで良かったと思え、活力ある地域づくりを目指す。

Q & A

Q まちづくり協議会とは？

A 自治会や公民館など、地域に存在する小さな団体をひとつにまとめる組織。「自分たちの地域は自分たちでつくる」という、市民の意識を変えるための取り組みでもある。



Q まちづくり協議会のメリットは？

- A
- ① 横のネットワークをいかして、個々の団体では解決できなかった課題について幅広い視点から取り組める。
 - ② 地域を代表する組織として、市への提案、要望をおこなうことができる。また、市による補助金の交付が可能となり、よりダイナミックな事業を実現できる。
 - ③ 地域にある団体の相互補完ができる、まちづくり協議会同士が交流できるなど、助け合って事業を継続することができる。



◀ 地産地消を子どもたちが楽しく知るイベント。宇陀が誇る有機野菜など、地域素材を盛り込んだキャラ弁をグループで考案した

▶ 各地域のまち協の代表者が集まり、それぞれの地域資源活用についてワークショップを開催。横のつながりを生み出す機会に



Voice

東榛原まちづくり協議会会長・新 禎夫さんにお話を伺いました。

東榛原は榛原地域で1番最初にできた「まち協」で、17の自治会が集まる7100人という大所帯。新旧が交わることになり、意見も多岐に渡ります。現在続けているイベントの運営だけではなく、従来の自治会ではできなかったことを実現していけるように、次のステップを模索しているところ。特に雇用を生み出す取

り組みについては、遊休地を活用できないかと市と協議をしたり、新興住宅地のある東榛原だからこそ、リタイア組のサラリーマン経験を活かせる雇用など、地域に合った活躍の場を検討中。「まち協だから要望も言え、予算も取れる」といったモデルを確立し、他地域の刺激になるような「まち協」を作っていきたいですね。



▶ 室生ダム湖周辺のクリーンアップ活動&秋の収穫祭。自然の中で体を動かしながら地域をキレイに掃除できー石二鳥！

◀ 夏祭りは子どもから大人まで楽しく地域が一体となる日





ふるさと元気村
切り絵作家
江本幸雄さん
YUKIO EMOTO

江本さん「家が、大阪から旧室生村へ移住して来たのは約25年前。まだ昔ながらの風習が残る村で、「ここへなじむためにはどないしたらいいかな」と、趣味の切り絵を展示して自宅を開放した。これが、今も続くアートイベント「室生里めぐり」の始まりとなり、廃校を活用した芸術体験施設「ふるさと元気村」の誕生へとつながる。「いつまで続くかわからない」と思いながらも続けて来たから今がある。自分が

宇陀市文化芸術活動体験交流施設 ふるさと元気村

切り絵、陶芸、草木染めなどのアーティストが創作活動を行い、その様子を見学したり、体験もできる。山の芸術学校やアート特別講座なども開催。

☎0745-93-4400 両室生下田口1112 園9時～17時(冬期は16時まで) 休木(祝日の場合翌日)、年末年始
✉furusatogenkimura@kcn.jp
※要予約

MAP P44 C-3

「僕はここが好きやから」。
それが地域を盛り上げる原動力。



「無我魅了」で平成26年文部科学大臣賞を受賞した腕前

住んでいる場所を、楽しくホッとするところとしておきたいからやっているだけですよ」と江本さん。切り絵という芸術活動を軸に、何事にも柔軟に楽しみな暮らしを生きていく姿が印象的。「若い人だけでなくリタイア組にも入って来てほしい」とオープンだ。

廃校がカフェやアートスペースに！

木造校舎を地域の資源として
みんなが集まれる場所に。



奈良カエデの郷「ひらら」
Cafe カエデの
メンバー

奈良カエデの郷「ひらら」

珍しいカエデを観賞した後は、カフェでランチやコーヒーブレイク。わんこOKのテラス席、団体で貸し切れる和室などがあり使い勝手もいい。木造校舎の見学も自由ができる。

☎0745-84-2888 園菟田野古市場135-2 園10時～16時 ※Cafeカエデはランチ11時～14時、カフェ14時～17時(16時30分LO) 休月

MAP P45 C-3

昭和初期の貴重な木造校舎を利用した、カエデのガーデンとカフェやショップがある複合施設。2013年4月のオープン以来、宇太水分神社の参拝者や、近所のママ友会、ファミリーやカップルなど幅広い層が訪れ、いつも大賑わい。スタッフも地元の方ばかりで、毎月第1日曜限定50食の給食ランチや宇太水分神社の御神水を使ったみくまり珈琲などのカフェメニューを考案したり、手づくり市やライブ、婚活などのイベントを企画したりと積極的に活動している。無料で観賞できる約1200種、3000本のカエデは、全国でも比類ない収集量。春と秋に見頃を迎え、くつろぎの空間に鮮やかな色を添えている。

「子どもたちが住んでよかったと思える町を」 ユニークな宇陀市の子育て支援。



4つのKeywords

child
care

1

うだ子ども元気ダンス (うきうきダンス)

ウェルネスシティ宇陀市では、子どもたちの体力UPのために「うだ子ども元気ダンス」を創作。畿央大学と連携し、全保育・幼稚園にて実施した体力測定の結果をふまえ、楽しみながら身体を動かす機会をと、音楽からオリジナルで作り上げた。2015年度からカリキュラムに取り入れ、データ分析を行う等、体力向上に取り組む。



child
care

2

よみきかせ

子どもの心の豊かさを願う宇陀市では、1歳の誕生日を迎えるお子さんに絵本をプレゼント。絵本リストの中から選んだ本を中央図書館で受け取れる仕組みで、幼児期から本に親しむ習慣を育む。これをきっかけに、絵本のよみきかせを通じた親子のふれあいを…との願いも込められている。



child
care

3

おしゃべり

すべての乳幼児の状況を把握し、親子が孤立しないように配慮する宇陀市。生後2カ月の予防接種説明会を利用して、出産祝い金(ウッピー商品券)を手渡すことで集まりやすしたり、支援センターを開放するなど自然なコミュニケーションの場を作り、行政とのつながり、保護者同士のつながりを生み出す。



child
care

4

教育と保育のリンク

2015年度スタートの「子ども・子育て支援新制度」。宇陀市では「子ども・子育て会議」を立ち上げ、アンケート結果をふまえて宇陀市に合った事業計画を策定。こども未来課と教育委員会が隣接し、連携を取りながら事業を行うことで、幼稚園、保育園、こども園で垣根のない教育・保育を提供する。



家族やお友達と一緒にいこう♪ 宇陀は公園がいっぱい。

自然豊かな宇陀市には、皆で楽しめる公園があちこちに。宇陀川と山並みに囲まれた「平成榛原子供のもり公園」は、キャンプ場やバーベキュー場などもある大きな公園。「心の森総合福祉公園」は約7.3haの広さがあり、犬の散歩やジョギングなどで日々訪れる人も多い。その他、「室生山上公園芸術の森」や「菟田野オンジ山児童公園」などアートやウェルネスと融合した公園も。



古民家宿、移住者、
Uターン組…

Action6
Live
住む

新しい視点から見る、 宇陀暮らし。

住むように泊まる一棟貸しの宿を手がける方や、
他エリアから宇陀に移住して来た方、
一度離れた故郷に戻ってきた方など、
外からの視点を持つ人々。
それぞれ生き様は違えども、求めている何かを見つけて、
宇陀を選び、そしてどんな発見があったのでしょうか。
改めて、それぞれの思いを語ってもらいました。



伝統文化は言葉で語り尽くせない。 家屋に身を置き体感してほしい。

ささゆり庵 庵主
松林哲司さん

TETSUJI MATSUBAYASHI

「南アジアを旅した時、伝統文化が色濃く残り、人々は貧しくても精神的に安定して豊かだった」と話す松林さん。貿易会社を経営し、200回以上の渡航歴がある彼が故郷・日本を振り返った時、古い家屋は壊され、昔ながらの美しい景観が次々に消えていく現実があった。日本人として自分たちのルーツに立ち戻れる場所を守るには、今が最後のチャンスかもしれない。そんな思いに駆り立てられ、場所を探した結果、昔からなじみのあった深野に行き着いた。日本人には心休まる時間を、海外からの旅行者には、農業がベースにある本来の日本文化を体感できるようにと、古民家を宿として再生。ささゆりや棚田の風景と共に、深野の名は今、世界へ羽ばたき始めている。



葺き直しだけで4カ月かかったという茅葺屋根のある家屋。外からも内からも、柔らかな空気を体感できる



ささゆり庵

古民家を再生した一棟貸しの宿。棚田を望む囲炉裏の間、茅葺屋根を間近に感じるロフト、新装のダイニングやバス・トイレがあり快適にステイできる。

☎0745-88-9402 園室生深野656
☑2名利用11,000円～、3・4名利用9,000円～※大人1名素泊まり料金
<http://sasayuri-ann.jp> MAP P44 A-3





地域コミュニティの拠点・伊那佐郵人。ワンダーシェフランチやカフェ、レンタルスペース、雑貨屋さんとして営業中。ウダイチMAPの発行も

「ここでの生活は申し分なし」。 宇陀で実現した理想の暮らし。

宇陀市に移住して8年目。田舎で子育てをしたいと、旦那様の職場がある大和郡山市から1時間圏内で家を探し、菟田野にある古民家へ引っ越してきた松田さん。縁側があり、隣家との距離も保てるこの家を気に入り、すぐに購入を決

定。街にいた頃は、子どもを外で遊ばせておけず、週末になるとショッピングセンターを訪れていたが、今は、庭で自由に遊べるので出かけることもなくなったという。夏はクーラーいらず、井戸水でプールをしたりBBQをしたりと、お金をかけなくても贅沢な暮らしをしていると感じるそう。ご自身も、コミュニティ

いなさゆうと 伊那佐郵人

築80年の旧郵便局を活用したまちづくりの拠点。事業の中心である日替わりシェフレストランは、大和高原の食・農・人がつながる場として賑わう。

☎0745-88-9064 函様原比布1312 営11時～17時 ※変動あり 困不定 MAP P44 C-2

いなさゆうと 伊那佐郵人代表 松田麻由子さん MAYUKO MATSUDA



何かがある、ということよりも
ゆったり流れる時間がいい。



エウボ cafe equbo* 大窪祐美子さん、 宏美さん YUMIKO / HIROMI OKUBO

大窪さん姉妹は大宇陀出身。しばらく離れていた故郷に戻ってきたのは、2人でカフェを開くため。場所を探しているうちに、10年間空き家になっていたこの家を気に入り、地元でやることを決めたのだという。「10代の頃は街へ出たかったけれど、今はこの地の良さを感じる」。そう話す大窪さんたちは自身の持つゆったりした空気感は、

2人が育った土地にぴったりのじみ、カフェの居心地もバツグン。わざわざ来ていただいたお客さんにゆっくり過ごしてほしいからと、あまり大きく宣伝はせず、「近所さんに助けてもらってやっています」と、まずは地元とのつながりを大切にしている様子。訪れた人が思いの時間を過ごせる場所として愛されてゆくことだろう。

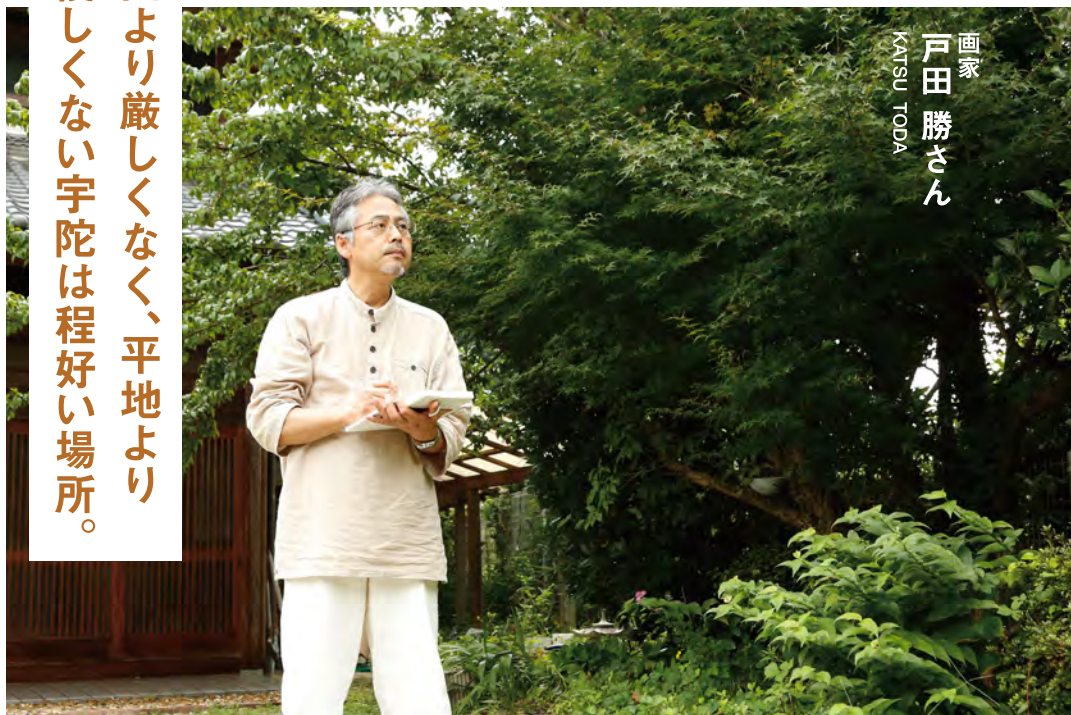
エウボ cafe equbo*

夏は涼しい風が通る古民家カフェ。食材は、お2人のおばあちゃんのお米や野菜を中心に、地元の方に楽しんでもらえるよう他エリアの野菜なども仕入れる。雑貨と米粉パンも並ぶ。

☎0745-83-0860 函大宇陀下中2229 営9時30分～18時(ランチ11時30分～16時) 休月、第2・4日 MAP P45 C-2



画家
戸田 勝さん
KATSU TODA



山より厳しくなく、平地より
優しくない宇陀は程好い場所。

山口県出身の戸田さんが、奈良に移住してきたのは10年前。当初は自身のテーマの一つである山頭火の境地に近づくため、野迫川村で自給自足の生活を営んでいた。その後、大宇陀に居を移し、創作活動を続けている。「絵は環境が描かせる」と戸田さん。地域遺産とも言える古い町並みや歴史文化が根付き、蜚舞う自然が残る宇陀

というまちを気に入っていると言います。冬の寒さも創作には良いエッセンスなのとか。スケッチをしにうちこへ出かけている戸田さんが言う。「宇陀の土地が持つ波長といいますか、何かが違うんですよ。なかなかないですよ。こついうところは」。外から来たからこそわかる宇陀の魅力を伝える活動も積極的に行っていきたいと話す。



自宅兼アトリエには作品も展示。世界遺産や山頭火のシリーズ、自由画など色が美しい絵画が並ぶ

結婚を機にアメリカから宇陀に移り住んで4年。2015年3月まで、幼稚園と小学校で英語クラスを担当し、図書館や個人の英会話教室では若者から年配の方々までを教えるなど、宇陀の英語教育に関わってきた。今でも街を歩いていると「ケイド先生！」と声をかけられることもしばしばなのだとか。朝食は納豆ごはん、たこ焼き

やカレーが大好きという日本食びいき、休みの日は東吉野までサイクリングに出かけたりとすっかり宇陀暮らしをエンジョイしている様子。菟田野秋まつりでは、地元の方々に混じって太鼓台を担ぐ姿も。「ここでの生活に満足しています。大変なことと言えば、漢字を読むことくらいかな？」と笑顔で話してくれた。

元・英語講師
ケイド・デリスさん
Kade Delis



森林や川がたくさんある
美しい宇陀に住み続けたい。

小さい頃から本当の発音に触れることが大切と、ネイティブによる英語教育をいち早く導入している宇陀市。耳から吸収する力を育てる



宇陀の
そば処、
三者三様。

店に来られるお客様を通じて、
見どころを再発見しています。

蕎麦・菜食 一如庵
桶谷一成さん

ISSEI OKETANI

築150年の古民家で星付きの蕎麦店…と聞くと、敷居が高く感じるかもしれないが、こは店主が育った家。センスの良いインテリアや器も、「自己流で好きなようにやっています」と堅苦しさは全くない。若い頃、田舎を出た青年が、さまざまな経験を経て出会った蕎麦の道。以来、ダシを極め、製粉に目覚め、故郷に腰を落ち着けて自分なりの味を追求し続けている。淡泊な蕎麦の味を邪魔せず、且つ、お酒も楽しめる菜食や酵素玄米のメニューも桶谷さんのアイデアだ。今後は、「他の店と緒に、宇陀フルコースを作りたい。この小さいまちで、こんな素敵なことができるんだぞっていうことがやりたい」。ますます地域に根付いた店になっていくことだろう。



互いに榛原出身で東京生活も長かった桶谷夫妻。「1回出ているからこの良さがわかるのかもしれないですね。最近、遠くからお越しのお客様に、この辺りのいいところを逆に教えてもらうことも多いんですよ」。

蕎麦・菜食 一如庵

石臼で自家製粉する蕎麦は、バランスを見て3〜4種類をブレンド。もり蕎麦は更科粉の多い細めの優しい味。季節野菜の一品の数々もぜひ。

☎0745-82-0053 國榛原自明
1362 圖11時〜14時30分、17時〜20時 ※昼の膳と夜は要予約
囲火、第1・3月

MAP P45 B-2

余った蕎麦粉で募金クッキーを作り、社会貢献にも取り組み中



手打蕎麦
はぎ乃
小笠原 武さん
TAKESHI OGASAWARA



「長いこと続けることに価値を感じています。蕎麦のように細く長く」と笑う小笠原さん。この場所に店を構えて14年目。飽きのこない普段使いの店を続けたいと言う。生まれも育ちも榛原で、店を開くなら地元と決めていた。長野での修業を経て、当時まだなじみがなく、また幅広い年齢層に食べてもらえる蕎麦の道を選ぶ。「打ちたて、ゆがきたてのお蕎麦ってこんなに美味しいんだと、地元の方に喜んでいただきたくて」。蕎麦の配合やつゆの味、量や値段も地元の感覚に合うようにアレンジし、周りからの評判も上々。榛原の好き

じもと
田舎ならではの人付き合いが
プラスになっていると思います。

な点を伺うと、「見何もないようにできて、長く住むと味わいが出てくるところですね」との言葉。この人にしてこの蕎麦ありである。

手打蕎麦
はぎ乃

お蕎麦は基本の二八蕎麦。蕎麦粉の配合を変えながら風味や甘みを引き出す。営業時代に会った安曇野の山葵でいただく蕎麦の他、数種類のメニューが。

☎0745-82-6080 所 榛原長峯45-1
営 11時～15時、17時～22時(土日のみ) ※昼夜売り切れ終了・予約可 閑水
(祝日の場合営業) MAP P45 A-1



さとし
俣の美しさを感じられる
室生は素晴らしいところ。

手打ち蕎麦と蕎麦会席
むろう 室生 伽藍洞
渡辺誠彌さん
NOBUYA WATANABE

さとし 俣とは、田舎を表す言葉で雅の対義語。薔薇の花より野の花、友禅より藍木綿に美を見る…そんな眼差しを持つ渡辺さんが、NHKのアナウンサーとして東京から北海道や出雲を転々とした後、奈良へやって来たのは約23年前。「田舎を求めて」明日香村へ移住し、自身のコレクションである藍の古布を展示する飛鳥藍染織館を開き、奥

手打ち蕎麦と蕎麦会席
室生 伽藍洞

石臼挽きぐるみの蕎麦粉を使うが、上品さを残すつるりとした喉越し。地元食材がたっぷり味わえるそば膳や挽きたて珈琲もおススメ。

☎0745-92-5130 所 室生三本松4352-2
営 10時～16時 ※16時以降は金土日の予約のみ 閑水

MAP P45 A-4